

平成27年度

第5回 阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

平成27年度第5回 阿波市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成27年8月27日(木)

開会 午後2時00分

閉会 午後4時30分

2 場 所 阿波市役所 本庁 3階 302会議室

3 出席委員

委 員 長	重 清 由 充
委 員	安 田 佳 子
委 員	森 勝 正
委 員	庄 野 憲 二
委員(教育長)	坂 東 英 司

4 会議出席者

教 育 次 長	吉 田 一 夫
教 育 次 長	高 田 稔
教 育 総 務 課 長	矢 田 正 和
学 校 教 育 課 長	大 倉 敏 美
社 会 教 育 課 長	松 原 美 子
学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長	大 木 悠 子
(書記) 教 育 総 務 課 課 長 補 佐	笠 井 久 美 代

5 付議事項

- (1) 前回会議録の承認について
- (2) 教育長の報告について
- (3) 平成27年度教育委員会一般会計補正予算(第3号)について
- (4) 教育委員会事務事業の点検及び評価について
- (5) 準要保護の認定について
- (6) その他

会議の大要は、次のとおり。

【重清委員長】 定例会を開会する旨を告げる。

(1) 前回会議録の承認について

【重清委員長】 送付いただいております議事録について何かございますか。

〈質 疑〉

なし

【重清委員長】 「前回会議録について」を承認する旨を告げる。

(2) 教育長の報告について

【重清委員長】 教育長に報告を求める。

【坂東教育長】 7月31日から8月27日までの、主だった教育委員会行事について報告。

〈質 疑〉

なし

【重清委員長】 「教育長の報告について」を了承する旨を告げる。

(3) 平成27年度教育委員会一般会計補正予算（第3号）について

【重清委員長】 事務局に説明を求める。

【吉田教育次長】 平成27年度教育委員会一般会計補正予算（第3号）について説明。

〈質 疑〉

【安田委員】 ユーカリの木は、折れてしまって大丈夫なんですか。

【吉田教育次長】 樹木医に一度診てもらっています。樹木医に相談しながら対応検討し予算計上しております。かなりの老木で、中を見ると空洞のところもあって大変厳しい状況とは思いますが。

【重清委員長】 できるだけの手当をするということですか。

【吉田教育次長】 そうです。やはり、昔から馴染みがあるということなので。

【安田委員】 運動場の真ん中にあるので、風の影響も受けますよね。

【森委員】 もともとユーカリの木が先にあったので、優先的においたままで校舎を建てて、グラウンド整備をしたと思います。

【森委員】 市指定の天然記念物ですので、対応しなければと思います。樹木医が枯れるような判断をしたときは、文化財担当が会議を開いて指定を取り消すということになりますか。

【吉田教育次長】 そうです。樹木医の判断でそういう意見ができればそのような

ると思います。市の文化財の審議会へ提案して、それを取り消すといった協議が当然必要になろうかと思っています。

【森委員】思い入れが深いので、毎年何組か「同窓会するからあの前で写真撮らせてほしい」とか、「日曜日だけど入らせていただけますか」というような依頼の電話があったりします。卒業されて県外にいかれている方にも思い出深いというか。そのような存在なので、撤去したくないという方が多いんでないのかなと思います。

【吉田教育次長】かなり思いが強いので、保存できればと思います。先日アオギリ2世の植樹をしたんですが、ユーカリからとった新しい木を植えるのもひとつの方法かなと思いますが、今のところはそこまで行ってないです。

【安田委員】校庭に、活動中に倒れてくるような事がないように。それが一番心配です。

【重清委員長】できるだけの手当をして、今後のことを考えていただきたいと思っています。

【森委員】是非とも2世をとということで、種を発芽させて育てるとか、挿し木をすとかいろんな方法がありますが、調べてみると非常に難しいらしいです。

【重清委員長】できるだけよろしくお願いします。

【森委員】伊沢小学校のエレベータの保守点検ということですが、伊沢小学校でこれだけですか。

【吉田教育次長】そうです。

【森委員】年間何回くらい点検するんですか。

【吉田教育次長】毎月です。阿波市内でエレベータを設置しているのが13校になります。1校当たり保守点検で月38,000円から40,000円はあります。

【重清委員長】かなりの金額になりますね。

【安田委員】どこがないのですか。

【吉田教育次長】一条小学校です。

【重清委員長】普段は使いませんが、不自由な方やケガをした方のためのものですから。

【森委員】必要でないと思われるけれども、事故があつてからでは困ります。基準があると思いますが、点検をして事故があつたら業者の方で保険に入っているとかありますか。

【坂東教育長】当然していると思います。

【矢田教育総務課長】点検もメーカーでしております。

【森委員】遊具なんかは点検したところが次の期間までに事故があつた場合には

業者が責任持つこともありますよね。

【矢田教育総務課長】市のほうでは直接保険には入ってないと思いますが、点検の中に保険的な要素はあるとは思いますが。詳しくは調べてはいませんが。

【重清委員長】金額は高くつきますが、何かあった時のことを考えた場合しっかりと点検していただかないと。

【重清委員長】「平成27年度教育委員会一般会計補正予算（第3号）について」を了承する旨を告げる。

（4）教育委員会事務事業の点検及び評価について

【重清委員長】事務局に説明を求める。

【矢田教育総務課長】教育委員会事務事業の点検及び評価について説明。

〈質 疑〉

【安田委員】16ページの合同研修等ですが、保育所と幼稚園と合同研修となっていますが、久勝保育所は指定管理ですが一緒に研修をされていますか。

【大倉学校教育課長】全体ではしています。

【安田委員】人権教育の時は保育所も入っていました。21ページの学力向上で、今年地方創生の予算で学力向上の先生を配置いただいています。来年度以降は配置いただけますか。

【高田教育次長】来年度以降も配置できたらと思っています。

【安田委員】単年度予算とは思いますが。

【高田教育次長】5年位は可能でないかと思いますが。

【安田委員】来年度も再募集しますか。今の先生でお願いする予定ですか。1年契約だと思いますが。

【高田教育次長】非常勤特別職ですから、本人が来年度も希望されればそのままになります。

【安田委員】募集が遅かったので定員に足りない面があったんですが、新卒者とかいますので、早い段階で募集しておけばたくさんのお応募者がいると思います。

【高田教育次長】わかりました。

【吉田教育次長】今やっているのが、26年度予算を繰り越しして追加予算で、年度末に割り当てがきたので、その募集等も当然それに合わせて遅れてきたということで、他のことより後になってしまったということがあります。来年度は今のところまだ流動的ですけども、早めにできるようにしたいと思います。

【安田委員】よろしくをお願いします。

【庄野委員】5ページの奨学金の貸与事業が、25年度は64件の交付、26年

度は21名に貸与する。交付と貸与の違いはなんですか。

【大倉学校教育課長】事業名が変わりましたので、交付と貸与になります。26年度から貸与に変わりました。

【庄野委員】将来的には戻してもらおうと変わったのですか。それと、6ページの4の中に適応指導事業とありますが、その中で26年度4名の児童生徒とハイスクールが3名とありますが、高校生も行っていきますか。

【高田教育次長】適応指導教室の中には、あわっこハイスクールと言って高校生も週1回くらいカウンセリングをするようなことでの対応はしております。

【庄野委員】その子たちも不登校ですか。

【高田教育次長】はい、そうです。毎日というのではなくて週1回くらいと思います。

【庄野委員】89ページに総合型地域スポーツクラブというので、あわスポーツクラブと土成遊クラブと書いてありますが、これはどんなクラブですか。

【松原社会教育課長】総合型スポーツクラブというのは、自主的なクラブでスポーツをしたい人が立ち上げて、地域生涯スポーツクラブと言いまして、あわスポーツクラブが吉野町で堀北茂生さんが会長をしている子どもたちのスポーツクラブ。あわ遊クラブというのが、土成の稲井さんという方が会長さんで、土成でどろんこスポーツをしています。

【安田委員】41ページですが、教員の指導力向上でカウンセリング能力向上とありますが、子どもの悩みを見抜ける先生というか、学校にはカウンセリングも週1回半日とか1日来る程度では、機能できないのではないかと思います。普段担任の先生が、よく見ていただくというのが一番大事かなと思うので、先生方お時間なくて大変とは思いますが、こういうのを特に力を入れていただけたらなと思います。

次のページのカウンセラーの配置ですが、ちょっと前に一校ひとりのカウンセラーっていうのを文部科学省の方針というのがありましたが、時代のニーズに合わせてこういうのにも力を入れてくれたらなと思っております。

90ページの各種スポーツ少年団の活動充実でジュニア駅伝なんかとても成果をあげていて、少年野球にしても県内で優勝するようなチームもできてきています。ただ、指導者が校内でたばこを吸う人がいるのではないかと気になっています。たばこの灰皿を置いとけばいいという問題ではなくて、校内は禁煙なのでそのところをご指導いただけたらなと思っております。

【森委員】その件に関して、敷地内禁煙と一時表示していましたが、この頃は目立たないような気がしますが。

【重清委員長】私も運動会のたびにご協力お願いしますということで禁煙のこと

とか挨拶の中に入れていただいています。校門に貼っておくとかちょっとした配慮も必要かと。飲酒の件も配慮していただけたらと思います。

【安田委員】子どもがお掃除でたばこの吸い殻を拾うようなことがないように。

【重清委員長】不登校の件ですが、読売新聞に来年度不登校生宅に支援員を派遣する事業を行うということで、その指導員に充てるのが非常勤職員で担い手としては退職教員を充てたいということで、来年度から1都道府県につき2区市町村で実施するというようなことがあったのですが。

【高田教育次長】適応指導教室にそういった非常勤の先生を派遣する制度だと思いますが。適応指導教室に指導員がいますので、その指導員に対しての国が補助する制度だと私は解釈しています。

【重清委員長】支援員を自宅に派遣すると、その家庭の環境や様子がわかって、その子どもの悩みや進路相談にもものってあげられるというのは、やっぱり教員を経験されとる方だと、的確なアドバイスもできて、綿密に見てあげることができるのかなと思いました。48ページですが、通級指導教室の計画的な設置というので、発達障害などに対応したこうした体制整備というのは阿波市のほうでは今のところなされていないというふうにお聞きしたんですけれども、各学校で支援教室を作られる予定があるんでしょうか。

【吉田教育次長】これはできていない状況です。

【安田委員】これについて、前に質問したことがあったのですが、作りかけたのですが来る人がいなくてできなかつたらしいです。結局、放課後に保護者が送って行ってそれから参加する教室らしいです。保護者が送って行って参加する価値があるのかということがありまして。支援学級は学校によって差はあると思うんですが、阿波市は手厚いと思います。加配を配置してくれたり、その子に合わせてやってくれたり、現状ではいいと思います。エアコンに関してもほぼ入りますし、支援学級に関しても保護者は熱心にやっています。

【重清委員長】盛り込まれている以上は後期計画にも入るんですか。

【吉田教育次長】今回、後期計画を策定しますので、検討することになると思います。

【坂東教育長】阿波市として10校のなかで1校でもほしいと思いますが。特別支援に対する国の思いが強くて、予算もたくさんつけてくれて、今みたいに加配がどんどんつくようになりました。通級とはことばの教室で、そちらを重点にやっていくというのが主旨であって、特別支援という事例となったらその子のことをよく知っている先生方が学校にいて、その子を朝から晩まで指導してくれるのがありがたいと。その時間だけことばの訓練をするのでしたら大丈夫やけど、特別支援の必要な子が1時間2時間いたら帰っていくのでは効果があるんだろう

かという感じであります。今のところ市内では各学校の先生方においても開設して欲しいという要望はありません。各学校で加配をいただいて自分たちで対応したいと。地元の学校で対応してほしいというような意向が強いです。

【安田委員】言語指導に通っている子はたくさんいると思うんです。小学校よりも、むしろ幼稚園のほうにニーズがあると思います。

【庄野委員】今教育長がおっしゃったように、前と様子が変わってきていて、国の施策も変わってきています。私も去年まで学校でいたんですが、学校の中で充実させていくほうが良かったように思います。事業の見直しの評価の中で、必要性とか有効性があったと思います。通級指導教室のことについてはもう一度見直した方がいい時代が来ているのかなという感じはしています。

【重清委員長】そう思います。それと、129ページですが、国際理解の教育環境の充実ということで、事業概要の幼稚園からの英語活動というのはあったのでしょうか。阿波市は小学校1年生から英語の時間があり、他市よりはすごいと思います。5、6年生からというのが義務づけられています。1年生から英語に親しむ時間を作っていますが、今後幼稚園からの英語活動も考えていかれるということになるのでしょうか。

【吉田教育次長】阿波市の地方版総合戦略というのを新たに5年間計画しています。先ほど言った学力向上講師もそのひとつですが、先般それを計画するにあたっての有識者の意見のなかで、幼稚園の英語活動をしたらどうですかって意見もいただきました。後で説明をしようかと思っていたのですが、総合戦略のなかに、教育委員会としてもこれからの5年間でやっていきたいというのを提案して、これから審議していきます。幼稚園でも週1回とか少しでも派遣できないかと考えています。この評価は26年度なので実施していないという評価となっています。

【重清委員長】小さい子ほどすごく吸収が早いので、良い経験だと思うんです。今は中学校が主に外国人の先生が指導されていて、小学校は回数が限られています。それを幼稚園にも学期に1回とか2回とかお願いするというのは難しいですか。

【吉田教育次長】それを提案していきたいということで考えています。

【坂東教育長】ALTが4名と英語講師が6名いますので、契約内容がありますから、それを来年度にむけて変更できるなら変更してお願いできたらと思います。夏休みといった集中的なものにはなるんですが、夏休み、もしくはALTだったら中学校が中間、期末のテストの期間中行うことをこれから検討していこうと思います。

【安田委員】110ページの青少年自立支援事業の充実ですが、青少年育成センターのことだと思いますが、職員結局全員が非常勤か臨時の先生ですね。大塚

所長さんもとてもいろんなことに取り組んでいただいて、すごく頑張っていますし、他の職員の方もいろんなことで支援して行っていますが全員が臨時というのが気になります。一人職員を配置するのも難しいのですか。

【松原社会教育課長】1名教員がいて、石井町と阿波市で交代でいます。今年は阿波市に来ていただいております。

【坂東教育長】月交代で常勤です。

【高田教育次長】後藤先生が来ています。

【松原社会教育課長】この4月から土成中学校に籍を置いています。

【安田委員】わかりました。112ページですが、子ども会PTA連携強化っていうところなんですが、最近子ども会に入らない家庭がたくさんあるようです。それがちょっと問題になったりするのですが、子ども会の手引を阿波市なりに作ったらどうでしょうか。

【松原社会教育課長】手引きはあります。

【安田委員】子ども会での、バスはこんな要領で借りましたとか、手引きみたいなものを作っておけば子ども会も割と取り組みやすいのではないかと。

【松原社会教育課長】子ども会へは社会教育課として補助金は出しています。なかなかリーダーになる方がいなくて、年々子ども会自体が減ってきています。夏休みのラジオ体操の時の草取りとか、お世話する方がなかなかおいでません。

【森委員】61ページ、高等学校との連携強化でバス等の導入で、交通手段は自転車を利用しているということで、事業については全くできていないのですが、予算が確保できたらバスは交流の時に使えますか。

【安田委員】阿波西と阿波中と市場中のことですかね。人権劇とか。

【吉田教育次長】もともとの計画でバス等自転車も含まれるのかなと思います。

【森委員】65ページ、生涯学習関連施設整備充実についてのなかで、図書館情報システムの統合で、25年までは検討で、26年から実施。27年からの実施でいいんですか。

【吉田教育次長】もともとこういう統合という目標だったので、それを統合して現在運用して活用している状況です。もともとの振興計画をたてたときの表現がそこまでの考慮ができていないので。事業の方向性とかもある程度馴染まないところもあります。

【森委員】66ページ、指定管理者の更新。25年度に更新がされて、26年度から運営ですけども。これは何年ごとに更新ですか。

【吉田教育次長】これは3年ごとに更新で、25年からはじまって、27年の3年間です。来年度また新たに更新をしなければならないので、方向性をお話しようと思っています。

【森委員】事業実施内容と教育委員会の評価のところに、更新に関連するコメントがあったらいいのではないかなと。更新して、便利になって、評価が良くて、利用者が増えたみたいなデータがあればそこに入れたほうが評価するのにいいかなと思って伺いました。82ページのチャレンジデーを含むいろんな事業ですが、チャレンジデーはもうしないのですか。

【吉田教育次長】27年度からは実施しないということです。

【森委員】毎年熱心に報告する人は数字にカウントされるけど、家で掃除したり運動したり仕事したりしても報告しなければ数字に出ない。市民の市の事業に対する協力体制の度合いをみるような気がします。学校はみんなで運動して報告をしています。

【安田委員】この日に意図的にいろんな団体がいろんなところでスポーツイベントを立ち上げてたと思います。婦人会にしてもね。スポーツセンターで事業をしていました。お祭りの感じでこの日に合わせてスポーツイベントをして良かったと思いました。なくなったらちょっと残念かなと思います。

【森委員】全体的な評価は後からですか。

【重清委員長】全体の評価は学識経験者のお二人の先生方に所見をいただいていますので、これが全体のコメントになると思います。去年と代わられたんですか。大村先生が。1ポイントでも2ポイントでも評価が上がっていくということが効果として出てきているということです。

【吉田教育次長】評価自体も担当者による評価なので、なかなかそれを前回と比べて全体的なものをというのは難しいと。

【重清委員長】事業を評価する人にもよるしね。

【吉田教育次長】自分に厳しい人もいます。

【安田委員】書き方の見直しとか、様式の見直しとかしますか。

【吉田教育次長】後期計画に合わせて、見直しを考えています。

【重清委員長】いろいろとご意見がでたようで、今度次の5カ年計画ということですので、新たな評価の見直し等考えさせられる部分があると思うんですけど、学識経験者のコメントにあるように、ソフト面の充実を図っていただきたいと思っています。

【森委員】57ページの給食のところで、A評価をつけるには早いですか。阿波市内の生産食物を使って、9月から市内業者13店ということで行っています。年度途中でスタートするというのはAにできないのですか。

【吉田教育次長】給食センター自体は去年の9月からですが、市内産食材の活用というしくみづくりというのは今年度からしています。それまでも取り組みはしていたのですが、さらに強化したのは今年度の4月からということなんでBにな

っています。

【森委員】成果が上がったところは積極的にAにして、アピールしてもいいかなと思います。広報誌なんかも以前にくらべたら充実していていると思います。市全体で取り組みをおこない、みなさんに周知する内容がきめ細かに充実しているんじゃないかなということで、阿波市そのものの活動がお金もかけているんだけれども、人も頑張って充実してきてるんだなと思うんです。

【安田委員】観光協会が作った阿波市の食のアピールっていうのに、阿波市の給食は日本一っていうのがあって、すごい高評価でアピールしてくれています。あのスライドを見せてもらいましたが、あれ見たらすごいなと。他から来てここで子育てしたいって思うのでないかと。もっともっとみんなの目に触れるような機会があればと思いました。

【重清委員長】こと細かに委員のみなさんが調べてくださってご指摘もいただいておりますので、これからも後期内容をいいものにしていただけたらと思います。

【重清委員長】「教育委員会事務事業の点検及び評価について」を承認する旨をつける。

(5) 準要保護の認定について

【重清委員長】事務局に説明を求める。

【大倉学校教育課長】準要保護の認定について説明。

〈質 疑〉

【安田委員】継続というのは以前からで、この人数が新しく入ったということですか。

【大倉学校教育課長】はい。

【重清委員長】「準要保護の認定について」を了承する旨をつける。

(6) その他について

【重清委員長】委員、事務局に何かあるか尋ねる。

【矢田教育総務課長】教育委員会の後援会等の申請状況について説明。

〈質 疑〉

なし

【高田教育次長】全国学力学習状況調査の公表について説明。

〈質 疑〉

【重清委員長】公表の仕方ですか。

【高田教育次長】そうです。このことについてご意見いただけたらと思っています。

【重清委員長】高田次長さんより、公表の一例は説明していただきましたが、どういったかたちで公表されるのがよろしいでしょうか。皆さんのお考えをおっしゃっていただけたらと思います。

【庄野委員】ある程度公表はするほうが良いかなと思います。例えば、課題等の概要とか、課題解決のためとか、そういうのが市民の人も知りたいというのがあると思います。1の場合の各教科における平均正答率の全国との比較ですが、これも平均的な時はいいと思いますが、例えばですよ、全部が平均より下だった場合を考えると。

【高田教育次長】ご意見いただきましたように、例えば、上回る、下回る、ほぼ同レベルというのですか。平均正答率で言ったらポイントでよく表されるんですけど。他の自治体もこのあたりはすごく求められている部分ではないかと思います。このことを踏まえた課題というのも現実に市民の方であったり、議員さんであったり興味津々というか、知りたい事情があるんでないかと思います。

【庄野委員】その年々によって、その出来具合がちがう場合もあります。それでも、これで出すとなったらずっと出していくということですか。

【高田教育次長】私が情報収集したところによると、全国的には半分以上は公表しているととらえております。市全体ということであったり、数字では出さないというようなことで。

【重清委員長】1番の各教科における平均正答率は本当に阿波市の結果ですか。

【高田教育次長】これは例です。

【安田委員】一般の人が一番知りたいのは1番でないかなと思うんです。下回っていて厳しいご意見をもらうのは当然ですが、仕方ないことだと思うんです。公表して、これが出ていなかったら公表にならんと思うんですが。

【重清委員長】新聞では、小学校は42位から25位に浮上。中学校も31位から27位って出て、その数字だけでほっとしたんですけど、阿波市ってどうなんだろうとつい思ってしまうのと、その時の現状にどう教員が対応していくかっていうことも各学校成績の違いがだいぶあると思うので、その部分をしっかりと話し合っって指導していくようにしていかなければ難しいですね。やっぱり表現の仕方はこれがいいんですか。

【森委員】もともとは、公表するためのものでなくて子どもの学力はどうなっているのか、指導する側はどういうことに気をつけてどんな内容を指導したらいいだろうかみたいなことを調べるためのテストだったはずですけども。いろんな

ところからの要望というかニーズというか。いままで公表してなかったんですけど、町別とか学校別とかそういう単位ですと、過度の競争だったり、あそこがそんなに悪かったんだとか良かったんだとかするので、偏見にも繋がりかねないのでそれは止めといて。公表してほしいという市民の気持ちから考えて、ある程度の線は出していかないかんだらうと。ただ、あんまり具体的になるのは良くて、逆にそのこと家庭環境とかいろんなことを調べているので、そこらへんも同時に、保護者だったり地域の方に知っていただいて、家庭学習であったり地域での取り組みであったり、学習をサポートする人たちの参考になるような内容も同時にしていくべきでないかと。公表するにしても。ここに書いてあるように、課題と調査してある内容で、家庭で気をつけてほしいとか。

【高田教育次長】ここでは十分書ききれなかったことはあるんですが、課題等の概要の中で今ご指摘いただいたように、学習状況等の調査もしておりますので。当然、家庭学習の足らない点もアンケート調査結果も出ておりますので、そう言ったことも盛り込めたらと思っております。

【坂東教育長】何を持って全国平均より上か下かというポイントがね。新聞発表の集計したのを見てみますと、中学校でしたら58から61。この3点差の中に40の県があるんです。80と83点はあんまり違わない。80点取れているんです。80点取れていたら上等でないかと私は思っているんです。

【森委員】ほぼ平均ですよ。

【坂東教育長】小学校の場合も61点から65点の4ポイントの中で41の県があります。全部その中に収まっています。数値が一人歩きするということが心配です。表現をどうするかということが難しいと思います。

【安田委員】でもやはり先生が今ご説明いただいたような文言を、1行か2行説明で入れておかないと、下回ると言えば20点も下だろうとか大きくとりがちなので、2点の中に何県かあってという説明はしとくべきだなと思うんです。悪いとなったら他に60点取っているのに、阿波市は40点かとかいうのでないので、そのような説明を入れておくというのも大事だし。

【森委員】発表は新聞社を呼んで載せるんですか。広報紙でいくのか。何を通じて何を媒体として。

【高田教育次長】こういった形で、ペーパーで学校に出したり、ホームページに載せるとかいうことになると思います。

【森委員】ホームページだったらあんまり見る人いないんでないですか。

【重清委員長】市のホームページは見ますよね。各学校で興味のある方とか、学校に聞きに来る方とか学校の説明とか保護者全員を集めて「こういう状況ですのでご家庭の方もご協力ください」という機会があるのかというのは、どうなんで

しょうか。学校によって違うんでしょうか、一斉にするんでしょうか。

【高田教育次長】学校長の判断ですね。

【坂東教育長】原則は、子ども一人ひとりの個票が返ってきますので、それを返して子どもと先生と面接のようなのをして、個人懇談で親がいれば一番いいんですが、時期的に難しいところがあって、親御さんや家庭の協力は当然必要であつて。校長は、うちの学校の子どもたちの生活の状況が出てくるんで、それを見てうちの学校の子どもたちは、早寝早起きができてないとか、テレビ見る時間が長いような傾向があるとかそのようなことをプリントにして、学校から学力向上についてこのような傾向がありましたからお願いしますというようなことを。

【庄野委員】たぶんしていると思います。私もホームページに学力のことを7回ぐらい載せました。たぶんどこの学校も。

【重清委員長】学校だよりでもしていますよね。

【坂東教育長】学校は学校なりにやっただいていると思います。

【庄野委員】学校の傾向についてはしていると思います。

【重清委員長】後は、保護者が読むかどうかなんです。

【庄野委員】ホームページの読む回数も、昔より増えてきています。

【安田委員】スマホでも見れますよね。

【重清委員長】読んでいたらやはり新聞を読む子どもの正答率が高いというふうに出ています。学校訪問でも新聞を読んだ感想を書いたりしている学校もあり、こういうことを続けることにより、少しずつでも力になります。ホワイトボードでグループ学習をしたりタブレットもこれから使われるので、そういった感じで子どもは自分の考えを表現できたり、それを文章に表すことができるようになったら、学力は自然と向上していくようになるんでなかろうかと思うんですけどね。どうぞございましょうか。今のような公表の仕方よろしいでしょうか。

【高田教育次長】公表するのは10月末ぐらいです。

【坂東教育長】まだご検討いただく時間はあると思います。

【高田教育次長】公表する方向かというようなところだけを。

【重清委員長】小学校中学校の面接は主に夏休みですか。学力テストの結果を個人的に伝えるとか、こういうところをご家庭でもお願いしますというアドバイスや助言ができる機会がないんですね。できたらそれに合わせてくれたらと思うんですが。

【庄野委員】2回しているところもありますね。12月は希望制だから、全員ではないですが。

【重清委員長】伝えたい人はなかなか来ていただけないとか。保護者の方に言葉でお話ができる機会があればと思います。

【庄野委員】公表するということは、県の今年から4. 5. 6年生のもしていくんですか。そこまではまだ考えてないんですか。

【高田教育次長】ステップアップですね。データが多い全国のテストというあたりを特に重点的に分析する必要があるかなと思っております。また案を作らせていただいて、するかしないかということをもた、ご審議いただきたいと思っております。

【重清委員長】前向きに検討中ということで。

【高田教育次長】はい、わかりました。

【大倉学校教育課長】8月4日の通学路の危険箇所点検について説明。

〈質 疑〉

【安田委員】今日9時に中央橋のあたり通ったら、南から通っている阿波高生と思うけど土手の上を通っていたんです。阿波高生は利用する子があるかもしれないなと思いました。

【重清委員長】スクールゾーンとか標識はまだついてないんですか。

【大倉学校教育課長】まだです。できあがりには3学期辺りになるんでないかと思っております。

【森委員】あくまでスクールゾーンに指定するまで、地元の住民であったり、保護者であったり、地域の団体であったりから申請をして警察の方で認めているのですから、教育委員会から取り消しを言えないと思うんで、地元の意向を大事にするということだと思います。

【吉田教育次長】27年度からの「まち・ひと・仕事総合戦略」について説明。

〈質 疑〉

【安田委員】環境整備はどうですか。

【吉田教育次長】ソフト事業ですので、ハード事業はこの予算にはつきません。

【安田委員】運動部の合宿の件ですが、徳大の剣道部が来てくれているみたいですが、練習場所の確保がなかなか難しく、自分たちで探しているみたいですが、私とこの主人に照会があって阿波病院の北の体育館を紹介したみたいですが、そのように紹介も入れていただけたらと思います。

【吉田教育次長】解りました。もう一点ですが、図書館の指定管理ですが、28年度から新たに公募して新たな事業者を選定するわけですが、今まで3年の指定管理期間ということで募集しておりましたが、今回から5年の指定管理期間で募集をしたいと思っております。広く公募をするということですが、そこで働く人が3年で終わったり、3年間図書館の勉強をしても次に生かせなかつ

たりということで、できるだけ長い期間働いてもらってひいては市民サービスにつながるという形で話していきたいということで、5年間を提案しています。募集要項審査基準等は従来とほとんど変わらない状況でと考えています。近く審査会をして今後公募等をしていきたいと思っております。12月議会に議決が必要ですので、その候補者と議決を得れば締結をする運びになるかと思いません。

全国学力・学習調査について

(阿波市教育委員会会議規則第17条により秘密会)

【重清委員長】本日の議事が全て終了したので、閉会する旨を告げる。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成27年8月27日

委 員 長

委 員

委 員

委 員

教 育 長

教育総務課課長補佐